

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・山田敬	写真・後藤
山 No. 2004		
日 時 2022年12月9日・10日(金・土) 晴れ		
山 域 富士山・佐藤小屋(最高到達点2247m)		
コース 12/09 長泉14:30ー馬返駐車場16:00ーテント設営(テント泊) 12/10 馬返し出発6:37ー佐藤小屋9:42ー佐藤小屋近くで昼食10:39 ー下山開始ー11:04ー馬返し駐車場13:07ー長泉15:00		
標高差 上り・下り 馬返駐車場1437m~最高点2247m=810m		
藪漕度 なし		
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい		
冬山訓練と初テン泊		
参加者 加藤、星、井上、勝又、山田敬=5名		

年末の冬山合宿に向けての、冬山訓練の山行。訓練対象は、冬山初体験の私(山田)だ。加藤さんはじめ山の会の仲間が付き合ってくれた。ありがたい。

冬山に加えて、私はテント泊も初めて。ギア類もそろえなければならない。12月7日にカモシカスポーツ本店へ。東京に行ったついでに、山野井泰史氏のドキュメンタリー映画『人生クライマー 山野井泰史と垂直の世界 完全版』を鑑賞。

すごい人を観て、テンションが上がった状態で、雪山仕様の登山靴、アイゼン、ピッケルなどを購入。寝袋も購入。どれも高すぎて想定予算を垂直に突き抜け、金銭感覚がぶっ壊れた。(笑)



鍋がイイ

それらの初物を持参してテント泊予定の駐車場へ。テントを張る駐車場はすでに寒い。ダウンを着こまないと立ってられない。

テントはあっという間に完成。食事道具や寝袋をテントに入れて、他の荷物は車の中に。なるほどこうやってスペースを確保するのかと学ぶ。食事は加藤さんが朝から仕込んで、鍋の材料一式とごはん、漬物、茹でブロッコリーやカリフラワーなどを用意してくれた。

私は自分の食器にできた料理をよそって食べるだけ。至れり尽くせり。(加藤さん、訓練場所探しから食材調達、料理までありがとうございました。) 感謝。おいしかった！鍋を囲んで、星さんや勝又さん、井上さんの体験談や、年末どこに行こうとか話しながら食事をするのも楽しかった。



食事も終わり、就寝となったが、寝袋も初体験。思ったほど寒くはなかった。奮発して高性能のものを買ってよかった。朝4時すぎ起床。外は極寒。

冬山の朝だ。寝袋を片付けて、朝食を作りながら暖をとる。昨日の鍋の残りにご飯を入れて雑炊に。2、3杯おかわりして、お腹の補充はOK。テントをたたんで、出発準備。周りを見ると他にもいくつかテントで寝ている団体があった。昨日の夜、我々が寝てしまってから設営したと思われる。

6時30分過ぎに登山開始。1合目、2合目、3合目までは雪はない。順調に登っていたが、山頂の雪の様子を見ながら登っていたら、岩と丸太の土石止めの混在するところで、同行者が足をとられて転倒。ドキッとしたが、手や顔は問題なく、膝下を打撲程度だったので登山は続行。大事には至らなくてよかった。

4合目あたりから徐々に雪が現れる。しかし、アイゼンを履くほどではない。歩いている途中に、どんどん他のパーティと出会う。神奈川の労山の方もいた。引率のベテランの方と若い人の構成で、すごい量の荷物で登っている。

聞くと冬山訓練で、上の方で滑落訓練をするらしい。それをやりぬけた人だけが冬山に行っているというルールにしているとのこと。冬山の厳しさを感じた。



9時50分ごろ、5合目の佐藤小屋に到着。しかし、期待したほど雪量はなかった。寒い。とりあえず小屋に入って、おしるこやコーヒーをいただいて、暖をとる。皆で話し合っ、これ以上登ってもあまり雪の状態は変わらないようなので、アイゼンを履いて、下山する訓練をすることにした。

新しい買ったばかりのアイゼンと靴なので嬉しい。前回の訓練時より軽くて歩きやすい。しかし、アイゼンの調整が靴に合っていないとか（靴に合わせてセッティングしてもらったはずなのに、、、）、スパッツが雪山用でないとか、課題点が見つかった。雪と岩場の混在したところや、凍っている坂道の下り方がむずかしく、怖かったが、多少体験できたので、恐怖心は軽減した。

佐藤小屋下で昼食をとり、しばらくアイゼン歩行をしたが、雪も少なく、岩場が多かったので、アイゼンの歯を痛めるので、アイゼンを外す。あとは一気に下山。富士山頂をめざす大荷物の若者たちとたくさんすれ違う。すごい人たちがいるなあと思いながら下って、13時には駐車場に到着した。

今回は冬山訓練だったが、未体験のテン泊と、靴やアイゼン、グローブの着脱など新装備の試用ができて、よい体験になった。また買い足したいものが出てきた。投資額がえらいことになっているが安全と新体験には変えがたい。ますます早く雪山に行きたくなった。

